

令和2年第Ⅱ回短答式試験延期に対するアプローチ

4月17日、公認会計士・監査審査会より、「新型コロナウイルス感染拡大に伴う令和2年公認会計士試験第Ⅱ回短答式試験の実施に係るお知らせ」が公表されました。以下、延期が確定した第Ⅱ回短答式試験及び8月論文式試験に対する学習アプローチを記載します。

I. 第Ⅱ回短答式試験について

1. 現 状

5月24日（日曜日）に実施予定であった「令和2年第Ⅱ回短答式試験」ですが、公認会計士・監査審査会より、延期の発表がありました。また、延期後の実施方針については、5月中旬を目途に公表されると記載されており、具体的な日程が確定していない現状です。

2. 全 体

今回、最も学習の進め方に影響を受けるのが、5月短答式試験を受験する予定だった方々でしょう。8月論文を意識し、短答と論文を両立して学習してきた方も、4月初旬あたりから5月短答に向けて短答専念の学習に切り替えていたかもしれません。そのような中で試験の延期が公表されたわけですから、非常に困難な状況にあると言えるでしょう。

しかし、短答式試験に対しても、論文式試験に対してもやるべき事は変わりません。学習方法に行き詰まりを感じている方は今一度、「2020年合格目標上級期学習法レジュメ（12月～5月期）」も参考にして下さい。まだお持ちでない方も、WEBSCHOOLの学習法セミナーからダウンロードが可能です。時期は少しずらして考える必要があるかもしれません。しかし、必ず学習のヒントになることが記載されているはずです。

上記で紹介した学習法レジュメに被る内容もありますが、現在の状況も踏まえて、5月短答式試験に対する学習アプローチを2つご紹介します。

- ・ 5月専念で学習を進めており、8月論文に向けての学習を行っていない方 → 3.
- ・ 5月に向けての学習と併せて、8月論文に向けての学習を行っている方 → 4.

3. 5月専念で学習を進めており、8月論文に向けての学習を行っていない方

これまで通り短答式試験に向けての学習に専念することをお勧めします。

もちろん時間的に余裕が生まれた方は、租税法や選択科目の講義について、受講を開始することの一つです。しかし、先行きが不安定な中で新しい学習を開始した場合、短答式試験に対して過度なストレスが加わる可能性があります。今一度短答4科目についての完成度を確認し、不足がある場合には徹底的に潰していくようにして下さい。

また、今後の模試についてですが、全国公開模試（短答式）については、自宅等で受験するようにして下さい。提出期限は5月7日（木曜日）となっております。

延期に伴い、模試の実施を遅らせることを検討された方もいらっしゃるでしょう。T A Cでは全国模試後に、直前答練3回目をご用意しています。こちらの実施を本試験の延期に合わせて遅らせ、本番確定日の3～2週間前に実施していただくと良いでしょう。各校舎における全科目の同日実施や、バーチャル模試の実施については再度アナウンスをしていきます。合わせて確認して下さい。

(1) 財務会計論（計算）

- ☐ テキストの例題を一通り確認し、短答式試験に対する知識の漏れが無いかをチェック。
- ☐ 短答アクセス答練・短答答練を利用し、知識の定着。
- ☐ 知識をキープさせる。各論点ごとに解くべき問題を数問決めておき回転させる。

(2) 財務会計論（理論）

- ☐ 短答答練・短答確認問題の肢を一問一答で解けるようにする。
- ☐ 問題と併せてテキストの読込を行う。

(3) 管理会計論

- ☐ 短答アクセス答練・短答答練を利用し、知識の定着。（計算）
- ☐ 短答アクセス答練・短答答練・理論問題集の肢を一問一答で解けるようにする。（理論）
- ☐ 知識をキープさせる。各論点ごとに解くべき問題を数問決めておき回転させる。（計算）
- ☐ 短答式本試験を意識した解法のシミュレーションを行う。

(4) 企業法

- ☐ 短答答練・問題集（短答対策）の肢を一問一答で解けるようにする。
- ☐ 問題と併せてテキストの読込を行う。

(5) 監査論

- ☐ 短答答練・問題集（短答対策）の肢を一問一答で解けるようにする。
- ☐ 問題と併せてテキストの読込を行う。

4. 5月に向けての学習と併せて、8月論文に向けての学習を行っている方

短答と論文の両立をしていた状況に戻すことをお勧めします。

もちろん短答式試験に対する学習に不安を覚えている方は、引き続き短答式試験に対する学習のみを継続することも一つです。しかし、短答式試験に対する学習のみを継続した場合、論文式試験に対して準備が足りなくなる可能性があります。今一度短答4科目についての完成度を確認し、不足がある場合には徹底的に潰していくようにして下さい。その上で、論文式試験に向けて最低限必要な学習を継続すると良いでしょう。

また、今後の模試についてですが、全国公開模試（短答式）については、自宅等で受験するようにして下さい。提出期限は5月7日（木曜日）となっております。

延期に伴い、模試の実施を遅らせることを検討された方もいらっしゃるでしょう。T A Cでは全国模試後に、直前答練3回目をご用意しています。こちらの実施を本試験の延期に合わせて遅らせ、本番確定日の3～2週間前に実施していただくと良いでしょう。各校舎における全科目の同日実施や、バーチャル模試の実施については再度アナウンスをしていきます。合わせて確認して下さい。

全国公開模試（論文式1回目）については、一先ず受験を見送っていただいて結構です。短答式試験終了後に確認するようにして下さい。また、直前期のアクセス答練・論文直前答練について、実施の延期等が行われる場合には再度アナウンスを行いますので確認下さい。

* 以下、□は短答式対策、■は論文式対策を示している。

(1) 財務会計論（計算）

- テキストの例題を一通り確認し、短答式試験に対する知識の漏れが無いかをチェック。
- テキストの例題を一通り確認し、論文式試験に対する知識の漏れが無いかをチェック。
- 短答アクセス答練・短答答練を利用し、知識の定着。
- 論文アクセス答練・論文答練を利用し、解き方の定着。特に構造論点は注意する。
- 知識をキープさせる。各論点ごとに解くべき問題を数問決めておき回転させる。

(2) 財務会計論（理論）

- 短答答練・短答確認問題の肢を一問一答で解けるようにする。
- 問題と併せてテキストの読込を行う。論文式試験で重要性の高い箇所も注力して読み込む。

(3) 管理会計論

- 短答アクセス答練・短答答練を利用し、知識の定着。（計算）
- 短答アクセス答練・短答答練・理論問題集の肢を一問一答で解けるようにする。（理論）
- 論文アクセス答練・論文答練・総合問題集を利用し、知識の定着。
- 知識をキープさせる。各論点ごとに解くべき問題を数問決めておき回転させる。（計算）
- 短答式本試験を意識した解法のシミュレーションを行う。

(4) 企業法

- 短答答練・トレーニングの肢を一問一答で解けるようにする。
- 問題集（論文対策）を利用し、知識の定着。
- 問題と併せてテキストの読込を行う。論文式試験で重要性の高い箇所も注力して読み込む。

(5) 監査論

- ☐ 短答答練・問題集（短答対策）の肢を一問一答で解けるようにする。
- 問題集（論文対策）を利用し、知識の定着。
- ☐ ■問題と併せてテキストの読込を行う。論文式試験で重要性の高い箇所も注力して読み込む。

(6) 租税法

- 計算の講義を受講していない箇所がある場合は受講を検討する。
- 論文基礎答練・論文アクセス答練を利用し、知識の定着。
- 理論の講義は短答後に受講する形で問題ない。他科目の完成度が高い場合は受講を検討する。

(7) 選択科目（経営学）

- 計算の講義を受講していない箇所がある場合は受講を検討する。
- テキストの章末問題・問題集「レベル1」の問題を利用し、知識の定着。
- 理論の講義は短答後に受講する形で問題ない。他科目の完成度が高い場合は受講を検討する。

Ⅱ. 論文式試験について

1. 現 状

5月24日（日曜日）に実施予定であった令和2年第Ⅱ回短答式試験ですが、公認会計士・監査審査会から、延期の発表がありました。しかし、論文式試験については特段の発表が無く、5月中旬の短答式試験に対する対応と併せて公表されるものと思われます。

2. 全 体

8月論文の延期の可能性から学習に集中できない方もいらっしゃるでしょう。しかし、8月についての延期は公表されていない現状ですから、今のところは予定通り実施されるものとして学習すると良いでしょう。学習方法に行き詰まりを感じている方は今一度、「2020年合格目標上級期学習法レジュメ（12月～5月期）」も参考にしてください。まだお持ちでない方も、WEB SCHOOLの学習法セミナーからダウンロードが可能です。時期は少しずらして考える必要があるかもしれません。しかし、必ず学習のヒントになることが記載されているはずです。

なお、延期に関する情報が今後公表された場合に、学習計画を見直す必要があります。その際は何らかの形でアナウンスをする予定ですので、確認するようにして下さい。